

まとめ

1. 8月26日から、国内株式（現物）ポイント投資サービスがリリース！TポイントとPontaポイントを使って、現金を使わずに国内株式投資が可能に！計3商品（国内株式・投資信託のスポット買付・投信積立）にポイント投資が可能！
2. 国内主要証券の中で、複数の国内主要共通ポイントから好きなポイントを選んで投資できるのは、SBI証券だけ！！話題のNISA、つみたてNISAにも対応！
3. さらに今だけ！！国内株式ポイント投資サービスのリリースを記念して、最大600ポイントがゲットできるお得なキャンペーンを開催中！

■キャンペーンについて



詳しくはこちら：

https://search.sbisec.co.jp/v3/ex/RT_campaign_230828point_toushi.html

期間	2023年8月28日（月）から2023年9月29日（金）
キャンペーン内容	<p>①キャンペーン期間中にエントリーし、ポイントを利用してS株（単元未満株）を取引したお客さまに、もれなく100ポイントをプレゼント！</p> <p>②キャンペーン期間中にエントリーし、ポイントを利用して、スタンダードプランで最低手数料（55円）以上が発生する単元株を取引したお客さまから抽選で1,000名様に500ポイントをプレゼント！</p>
対象者	インターネットコースのお客さま（個人）

※ 国内主要証券は、主要ネット証券（口座数上位5社：SBI証券、auカブコム証券、松井証券、マネックス証券、楽天証券）、主要対面証券（口座数上位5社：SMBC日興証券、大和証券、野村証券、みずほ証券、三菱UFJモルガンスタンレー証券）で比較（2023年8月28日現在、SBI証券調べ）

■国内主要ネット / 対面証券 国内株式（現物）ポイント投資サービス比較表

	SBI証券	楽天証券	auカブコム証券	SMBC日興証券
利用可能ポイント	Tポイント Pontaポイント	楽天ポイント	Pontaポイント	dポイント
買付対象 売買単位	単元株・ 単元未満株 大人気のS株（単元 未満株）サービスに 利用可能！	単元株・ 単元未満株	単元未満株 のみ	単元未満株 のみ
利用下限 ポイント数	1ポイントから	1ポイントから	1ポイントから	100ポイントから

国内主要証券初！2つの主要共通ポイントで国内株式（現物）に投資できるのはSBI証券だけ！！

数百ポイントであの有名企業の株主に!?



SBI証券のS株（単元未満株）なら、通常100株単位での取引のところ、1株単位で株が購入できます。
数百ポイントあれば、あの有名企業の株主になれるかも!?

※国内主要証券は、主要ネット証券（口座数上位5社：SBI証券、auカブコム証券、松井証券、マネックス証券、楽天証券）、主要対面証券（口座数上位5社：SMBC日興証券、大和証券、野村証券、みずほ証券、三菱UFJモルガンスタンレー証券）と比較（2023年8月28日現在、SBI証券調べ）
※松井証券、マネックス証券、大和証券、野村証券、みずほ証券、三菱UFJモルガンスタンレー証券は国内株式ポイント投資サービス未対応のため表に未記載

例えばこんな有名企業！！

SBI証券のS株（単元未満株）サービスを利用して、500ポイント未満で投資可能な、東証プライム上場企業 時価総額上位銘柄ランキング

順位	銘柄コード	銘柄名	最低投資金額（円）	時価総額（億円）
1	9432	日本電信電話株式会社	162	146,420
2	4689	Zホールディングス株式会社	404	30,534
3	4005	住友化学株式会社	390	6,462
4	9831	株式会社ヤマダホールディングス	449	4,438
5	7167	株式会社めがきフィナンシャルグループ	385	4,192

NTTドコモ、NTT東日本 / 西日本の持株会社！

ヤフー、LINE、PayPay、ZOZOの持株会社！

日経平均株価構成銘柄！

ヤマダデンキの持株会社！

足利銀行と常陽銀行の金融持株会社！

※リフィニティブのデータをもとにSBI証券作成。
※S株（単元未満株）の買付手数料は無料です。
※最低投資金額は2023年8月18日終値をもとに、1円未満の端数（小数）は小数を切捨てた円単位で計算。時価総額は2023年8月21日終値で計算。